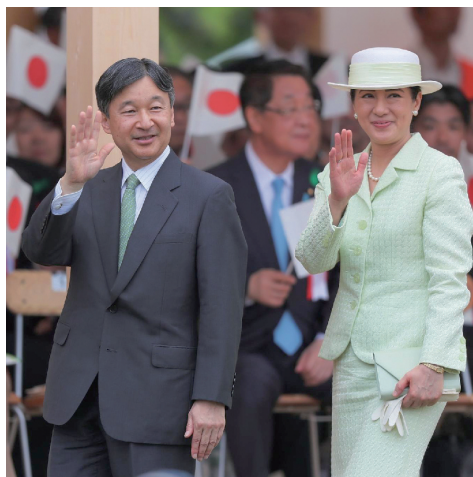


天皇陛下の御即位5年を寿ぐ



令和元年6月の植樹祭(愛知県)での天皇皇后両陛下

内外の情勢が緊迫する中、令和6年の初春を迎えました。緊急事態条項の新設や自衛隊明記などの憲法改正、男系による安定的な皇位継承のための法整備はいよいよ正念場を迎えます。そうした中、今年5月1日で、天皇陛下のご即位から丸5年となる節目でもあります。皆さまとともにあらためてご皇室の弥栄(いやさか)を祈りたいと思います。

新年の四方拝で国民の幸せを祈られ

陛下は今年も元日の朝まだき、「四方拝(しほうはい)」という年初の宮中祭祀に臨まれ、皇居の宮中三殿にある神嘉殿(しんかだん)前の庭上には、篝火が灯され、陛下はご祭服を召され、極寒の午前5時半に、屏風で囲まれた拝座から伊勢の神宮や神武天皇の陵(みささぎ)などを遙拝され、天神地祇(あまてらす)のあらゆる神々に五穀の豊穰と国家及び私たち国民の安寧をお祈りされました。

続いて「歳旦祭」に臨まれ、天照大神がまします賢所(かしこどころ)など宮中三殿にお上りになり、掌典長の祝詞に続いて拝礼され、玉串を捧げられました。

一般参賀は最大 10万人まで入場可

コロナ禍が収束した今年、恒例の皇居での1月2日と2月23日の64歳のお誕生日の「一般参賀」は実質人数の制限がなく、10万人までが入場できます。5月1日には、上皇陛下のご譲位に伴うご即位から丸5年を迎えられます。皇

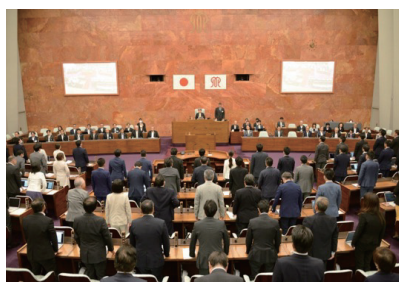
「選択的夫婦別姓」意見書は否定
神奈川県議会で令和5年12月18日、「旧姓の通称使用拡充の周知」を求める意見書が多数の賛成を得て可決されました。同県議会で

神奈川県議会

「旧姓通称使用拡充」意見書を採択

「選択的夫婦別姓」意見書は否定

神奈川県議会で令和5年12月18日、「旧姓の通称使用拡充の周知」を求める意見書が多数の賛成を得て可決されました。同県議会で



神奈川県議会

後陛下とともに地方を訪問される主な行幸啓としては、5月に岡山県での「全国植樹祭」、10月に岐阜県での「国民文化祭」等、同じ10月に佐賀県での「国民スポーツ大会」(昨年度までの国民体育大会)、11月に大分県での「豊かな海づくり大会」が予定されています。こぞつて両陛下を奉迎申し上げたいと思います。

令和2年意見書からの巻き返し

意見書には選択的夫婦別姓の文言はなく、「(国会及び政府は)婚姻後の社会生活に支障が生じないよう、旧姓の通称使用に対する理解を深め、旧姓の通称使用の利便性が高まるように一層取り組み」を強く要望

神奈川県議会が採択したのは「旧姓の通称使用の拡充を周知し第5次男女共同参画基本計画に沿った政策の推進を求める意見書」です。自民党県議らによる提案を受け、定数105(欠員1)のうちほとんどの賛同を得ました。

する」としています。

同県議会は令和2年3月に自民党が提出した「選択的夫婦別姓制度についての議論を求める意見書」が採択されましたが、内容は両論併記でした。しかし、「全国陳情アクション」などの別姓推進派はHPなどで「選択的夫婦別姓意見書」と決

神奈川県議会の意見書

